



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER

Dojima Grand Bldg., 1-5-17

Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN

PHONE (06)344-1717

JULY 1992, No. 1

The Service Club to the YMCA

Chartered September 25, 1982

MOTTO (1992~1993)

- IP "Let's care, let's share!" 労りの手, 分かち合いの心
 AP "Look beyond yourself!" 乗り越えよう, われわれ自身を
 RD "Extend Y'sdom throughout community" 広げよう! 社会にワイズの大きな輪
 -aim high at 6000- -日本区6000への実りを求めて-
- DG 『日々, 新しく生きる!』
 CP 『先ず実践! 感謝と報恩の行動を!』
 月間強調テーマ 『"Kick-off" EMC』

= 7月の聖句 =

兄弟たち, あなたがたは, 自由を得るために
 召し出されたのです。ただ, この自由を, 肉に
 罪を犯させる機会とせず, 愛によって互いに
 仕えなさい。 (ガラテアの信徒への手紙
 5章13節・本年度は新共同訳聖書を使用)

7月第1例会

日時: 1992年7月15日(水) 6:30~8:30 P.M.

会場: 大阪YMCA国際社会奉仕センター

司会: 柴田 健君

- | | |
|-------------------------|---------------|
| 1. 開 会 点 鐘 | 上月英子 会長 |
| 2. ワイズソング | — 同 |
| 3. 聖 句 朗 読 | |
| 4. ゲ ス ト 紹 介 | 上月英子 会長 |
| 5. 日々のご褒及び 黙禱 | — 同 |
| 6. 晩 餐 | — 同 |
| 7. 新会長 メッセージ | 上月英子 会長 |
| 8. 新役員 メッセージ | 副会長 以下
各役員 |
| 9. 決 算・予 算 提 案 | 伊藤勝康 会計 |
| 10. 91/92年度活動表彰 | 堀 直前 会長 |
| 11. お 誕 生 祝 い | — 同 |
| 12. ニコニコ献金 | ドライバ- |
| 13. 役員会・委員会報告, YMCAニュース | |
| 14. 閉 会 点 鐘 | 上月英子 会長 |

7月第2例会

日時: 1992年7月22日(水) 6:30~8:30 P.M.

会場: 大阪YMCA国際社会奉仕センター

= 聖句解説 =

自由は信仰にとって“必要条件”である。問題は“必要条件”が“十分条件”であるかどうかということである。これに対して聖書は「自由を, 肉に罪を犯させる(利己主義)機会とせず, 愛によって互いに仕えよ」と答えている。すなわち, 自己の自由と同様に他者の自由も重んじられねばならない。こゝに自由とならんで愛による奉仕が考えられてくる。愛とは, 他者のために自己を制限することである。自由が愛の奉仕によって媒介される時, はじめて“必要条件”が“十分条件”になるのである。

[中西部長方針]

1. クラブの全メンバーが, 全体の中で, 自分の存在を意識して, 積極的にワイズ活動に参加する。
- (1) 日常生活において, 各自がクラブ活動を位置づける。
2. クラブにおいて, リーダー・トレーニングに努める。

[中西部長活動計画]

1. 茨木クラブの設立を歓迎し, 全クラブが支援する。
2. 中西部のメンバー数を 250 名以上にして, 日本区代議員 1 名の増加を図る。
3. そのためには, この 1 年間, 各クラブ最小 1 名~2 名の増加に努力する。
4. 各種情報を的確に把握して, メンバーに徹底を期する。
5. 副区開設に伴って, 全員が理解に努める。東西でシンポジウム開催予定。

例会当番(6班) 黒田, 津田菜, 谷川, 竹廣, 柴田の諸君, 受付・会場準備・など宜しく願います。

会長就任に当って

上月 英子

いよいよ10周年。この記念すべき年に会長をお引受けし、重責に身の引締まる思いがしています。

過日の日本区大会では堀前会長の代理で、雑壇に上がり何度も賞状を受ける光榮に浴しましたが、次期は10周年を迎え、これに勝るとも劣らない成績を上げねばという思いで一杯でした。と言っても、これは会員の皆様のご支援がなければ達成できることではありません。是非とも力強いご支援ご協力をお願い申し上げます。

ところで、クラブ標語ですが、私の事務所の経営理念の1つであります感謝と報恩を取上げ、この理念のもとに行動を起こそう、実践しようとの思いで「先ず実践！感謝と報恩の行動を！」としました。報恩か奉仕か迷いましたが、社会から受けた恩に感謝し、それに報いる行動、これこそ奉仕ではないかと思ひそのまま使わせて頂きました。

さて、今年の我がクラブは目標が沢山あります。先ず第一は、10周年記念事業を成功させること。

平田委員長はじめ委員の皆様には前期より引続いて大変お世話をおかけしています。今年は全会員一致団結して、この事業を成功させようではありませんか。

第二は、会員の増強をはかること。

森田日本区理事の1997年のワイズ75周年には現在会員数を倍増の6000名にするという大目標のもと我がクラブも5年後倍増を目指し、今期は最低6名は増員して、40名の会員数の確保をはかりたいものです。CS・TOF事業を会員増強とワイズイメージアップにつながる社会運動へ展開したとの理事メッセージにもありますが、10周年の期に、広くマスコミをも活用してワイズのイメージアップを計ってゆきたいと思ひます。

第三に、あらゆる部門において積極的に活動すること。

前期はIBCを始め多くの賞を受賞しましたが、今期は10周年の年でもあり是非前期に勝る行動力を発揮しYMC Aへの援助はもちろんのこと、さらに社会への奉仕活動を積極的に行おうではありませんか。

誠に心もとない会長ですが、歴代会長がご苦勞されて育てられたセンテニアルをさらに大きく育て、10周年の大きな花を咲かせるため努力したいと思います。

何とぞよろしくご指導ご支援のほど心よりお願い申し上げます。



7月お誕生の方

Happy Birthday to following people ...

伊藤君：23日 千柄君：9日

6月出席状況

第1例会出席会員：19名

ゲスト：2名、メネット：4名

第2例会出席会員：12名（うちMU：4名）

ゲスト：0名、メネット：1名

出席率：66%（前月：69%）会員数：35名

-- 6月BF報告 --

=切手提供者=

秋月君 足立君 上月君 柴田君 杉浦君
鈴木君 隅田君 田中君 津田葉君
平田君 藤本君 山田君 山村君 湯浅君

=切手ポイント=

本月 2,283 pts. 累計 39,728 pts.

=現金ポイント=

本月 0 pts. 累計 28,580 pts.



＝ 6 月例会報告 ＝

湯 浅 充 章

6月の例会はゲストに石田新中西部長と、中西部の会計藤田義史氏をむかえて91-92年度最後の例会でしたが、梅雨空の影響かちょっと淋しいしめくくりの例会でした。

堀会長より退任の挨拶（おわびを含めて）があり、新田会長の交替式が石田中西部長の立会で厳粛に行われました。堀君から上月君にバッジを引継がれました。（センテニアル初の女性会長の誕生）

石田新中西部長の公式訪問でのメッセージの中で RENEWAL DAY BY DAY 『日々、新しく生きる！』を今年の標語に掲げ、この標語のもとに今年一年をY'S運動をして行く。と今迄のYMCA、キリスト教を通じて中西部を推進していくと決意の表明をされた。

日本区大会に出席された鈴木、谷川、上月、足立、山田、杉浦、三浦、各君より大会に参加しての感想や印象を話してもらい、参加出来なかったメンバーも大会の雰囲気味わうことが出来ました。特に今回はBFの優秀賞をはじめ多くの賞を当クラブがいただけたことの報告を受け、中西部センテニアルのほこりと共に来年度の励みにしましょう。

平田君よりセンテニアル10周年記念例会11月7日（土）於、海遊館に向けての準備状況の報告がされました。

中西部会計の藤田氏より9月19日（土）第4回中西部会の参加のPRと来年神戸で開催される第15回アジア地域大会の各クラブよりの協力金の依頼がありました（一人負担200円/月）

各委員会よりの報告が行われ今年度の最終第一例会が定刻通り閉会となりました。

6 月 第 2 例 会 報 告

- ①7月第1例会については前頁のように決定
- ②8月第1例会は、恒例のビアパーティを平田君のお世話により別掲記事通り実施する。
- ③第9回日本YMCA大会(10/23-25)について
- ④YMCA協力会員全員参加の方向と方法について
- ⑤91/92年度決算案92/93年度予算案について
- ⑥92/93年度会費値上案について検討
- ⑦10周年記念品検討の中間報告。

＝ 第 4 7 回 日 本 区 大 会 報 告 ＝ 福 永 嘉 彦

詳しい報告は、6月第1例会にて行われましたので、概要のみご報告致します。

6月13日（土）東京九段会館に於いて開催。今回のバナー・セレモニーはクラブ会長全員が初めから壇上に着席し、効率よく進められ、しかも、従来より華やかなで活気に溢れました。議事では、副区等に関する代議員会報告などが行われ、また表彰では、活発な活動を推進した多くのクラブの中で私達も別掲のような数々のすばらしい表彰を受け、誠に喜ばしい限りであります。本年度も頑張りましょう。

役員引継式の後、閉会式で来年度の日本区大会は、ホストクラブを京都洛中クラブ、会場を京都国際会議場で開催されることが発表されました。

当日夜、恒例のフェロシップアワーが、グランドパレスで行われ、楽しい交わりの時を持ちました。

翌日は聖日礼拝の後、自由参加で、江戸城ウエルネスウォークほか4つの行事が活況を呈しました。

なお、私達のクラブからは上月副会長（当時）をはじめ10名が参加しました。

＝ 8 月 第 1 例 会 ＝ (ビアパーティ)

日時：8月19日（水）6：30P.M.

会場：パノラマ・ビアレストラン・アサヒ

（松下IMPビル26階）（ビジネスパーク）

会費：メン・メネット 5,000円

中学以上 3,000円 小学以下 無料

◎奮って一人でも多くのゲストをご紹介願います。

＝ 会 員 消 息 ＝ 黒 田 巖 之 君 退 院

かねて足の骨折で淀川キリスト教病院に入院、加療中でしたが、6月27日ご退院、目下ご自宅で療養されております。御全快をお祈り致します。

THE CENTENNIAL

—1991/92年度日本区表彰—

第47回日本区大会において、当クラブは、下記の表彰を受けました。

- ①ASF協力賞—協力賞、②IBC活動賞—優秀賞、
- ③BF 100%以上達成賞 (145.1%)—達成賞
- ④BF Best 7 (第6位) 賞—BF現金優秀賞、
- ⑤CS・TOF年賀はがきベスト10 (第9位) 賞—CS年賀はがき優秀賞、⑥同1名当りベスト10 (第10位) 賞—CS年賀はがき優秀賞、
- ⑦メネット事業コミュニケーション (第2位) 賞—メネットクラブ優秀賞

—YMC A日本語学校堂島校よりのお礼状—

同校が日本語課外活動プログラムとして姫路城見学を実施された際、我々のクラブは交通費を負担した。これに対し同校より下記お礼状が参りました。

『センテニアルワイズの皆さんのデッカイプレゼント。学生にとっては、忘れられない思い出になりました。また、この5月22日という日の選択は、新学期が始まってからの様々な形での興奮状態も冷めやり、国際版「五月病」が始まりかけていたときだっただけに、抜群のタイミングでした。これから続く夏休みまでの長い旅路を、ホームシックにもカルチャーショックにも負けずに歩みだす、最高の弾みになりました。(中略) 次の日からの授業に随分役立つことになりました。ともあれ、姫路行きの日には学生たちが見せてくれた、明るくて屈託のない笑顔。あの底抜けに明るい笑顔がいつまでも消えることのないように、私たちも精一杯努力して、デッカイプレゼントへのご恩返しにしたいものです。本当に、みんなにとってデッカイプレゼントでした。ありがとうございました。

(日本語学校堂島校 松田浩志)』

—91/92年度中西部役員を終るに当って—

皆様方の御懇情溢れる御支援を頂き、お蔭をもちまして無事大役を終ることが出来ました。深く感謝申し上げます。

山田孝彦、山村利子、三浦直之、福永嘉彦

IBC ニュース

谷川 寛

先日、我家の息子、幹がハワイを訪ねました。

ボストンでの一年の大学院生活のあと、一時帰国の折、立寄りました。大変な歓迎を受けました。L. ヒラナカ宅にて二泊、M. シモンシ宅にて二泊お世話になりました。学生の特権でエンジョイさせてもらったようです。ワイズ国際書記I. ワリンの令嬢、ヘレナ・ワリンさんに会い、また、かつて大阪Yの主事であったP. パウワー一家にもお世話になりました。M. シモンシ宅でポット・ラックデナーをホストしてもらい、ワイズ、YMの人々が40名も集ったそうです。その折、B. クワハラ次期会長より大阪センテニアルのメンバーにと、1992-1993用のハワイ区の新しいピン(バッジ)を受取って来ました。次回の例会で、出来れば本人から上月会長に、お渡しすると云っています。御期待下さい。

なお、L. ヒラナカ夫妻が、グランドペアレンツになりました。御嬢さん夫妻に男子誕生。大変よろこんでいます。是非、お祝いの手紙をしてあげて下さい。

以上

(上記の関連記事が掲載された近着“The Nuuanu Y's Up” (ブルティン)のコピー)

JUNE 1992

BROTHER CLUB AND VISITING Y'S MEN UPDATE

By Larry Hiranaka

BROTHER CLUB HIGHLIGHTS: MIKI TANIKAWA, son of KAN and YUMI TANIKAWA of our Brother Club the Osaka Centennial Club, is currently visiting in Honolulu and is being hosted by the Nuuanu Club members. Also lending a hand in hosting were CONRAD and YOSHI TSUKAYAMA from the Windward Y's Men's Club. Miki arrived on May 26th and will be departing on the 31st. The MAURICE SHIMONISHI and LARRY and MAE HIRANAKA are providing homestays for Miki. Other lending a helping hand in hosting Miki were STEVE and SUSAN WONG, BOB KUWAHARA, PETER and MARCIA BOWER and his family, HELENA WALLING, and STEVE KRANZ. To climax Miki's visit with us, an Aloha Potluck dinner, with approximately 30 plus club members and family members attending, will be held at the SHIMONISHI'S home on Saturday, May 30th.

【編集後記】

本年度のブルティン担当を仰せつかりました。全くの素人ながら先輩のお二方と共に頑張りますので、何卒よろしく御指導御支援を賜りますようお願い申し上げます。

福永嘉彦

THE CENTENNIAL

[I] 日本区理事方針

1. 国際会長方針に即する活動

国際会長の①Y's Men's Imageの地域社会への宣揚 ②EMCの具体的成果の進展 ③Leadership Trainingの充実 ④家族ぐるみで地域開発という新しいTOFプロジェクト(ファーズモデル)の展開など重点目標に即した活動を推進します。

2. 直前理事・理事・次期理事間の活動方針・計画・実行の確実な承継

直前理事からは単年度で終えてはならぬ活動や未達成事業を新理事として真剣に引継ぎ、新しい計画とともに調整された計画を確実に実行していく。そしてまた未達成となった事業をバトンとして次期理事にきっちりと託していく駅伝形式をとります。

事業主任・部長・クラブ会長の働きも理事同様に確実な承継を果すことによって永続性ある大きな実りと拡がりが見られ、そしてワイズダム発展の基盤を強化してゆけるものと考えます。

3. EMCを中核とする活動の推進

会員増強・イメージアップに深く関わるワイズメンズクラブの成長は、 $\langle \text{良質} \times \text{多量} = \text{大きさ} + \text{強さ} \rangle$ という公式で表現できます。イエス・キリストの教え「愛」に基づく活動を正しく理解し実践できる良質なワイズメンを増強育成することがMCであり、MCの充実がEを多発させます。

また、YMCAサービス・CS活動をはじめ国内外の諸活動の積極的な増進を図るためにも、EXTENSIONが絶対的的使命であるとの認識に立ち、日本区においては1997年のワイズ75周年には現在会員数を倍増した6000名にするという具体的な大目標を掲げました。

『成功』はまず成功時のイメージを抱くことだと言われます。この具体的目標を全会員が脳裏にしっかりとイメージづけ、情熱を傾けて協力すれば必ず成功するものと確信します。

5年計画の長期承継事業の初年度としての効果を期待したいものであります。

4. 国際における長期計画策定への協力及び日本区の75周年事業を含む長期計画の検討立案
日本区全会員が関心をもって取り組み、計画・行動・反省を一年毎に確実に実行していきけるPlan-Do-See作戦の基盤づくりをします。

なお、部レベル、クラブレベルにおいても75周年に向っての5ヶ年計画を樹てその夢を果す喜びを共に分かち合いたいものと希います。

[II] 主要な事業計画

1. 日本YMCA同盟3ヶ年計画への協調支援
日本YMCA同盟の1992～'94年3ヶ年計画のうち、とくにワイズに関わりの深い「新しいYMCAの探求と形成」をテーマとする計画に協調し、支援していきます。

2. CS・TOF事業を社会活動へと展開
国際CS事業であるTOFと日本区独自のCS事業であるお年玉切手募金運動を、会員増強とワイズイメージアップにも貢献できる社会活動へと展開定着させたいと考えます。

3. ワイズシンポジウムの開催

①YMCAとのパートナーシップ ②ワイズにおけるクリスチャニティ ③社会におけるワイズイメージ ④国際・日本区の長期計画(75周年記念事業を含む)のほか、ワイズ事業すべての問題をとりあげたワイズシンポジウムを東西両地域で2回開催します。

4. 会員増強・イメージアップにつながる事業の実施

- ① 国際も推奨するマスメディアを活用したワイズイメージアップコンテスト
- ② ワイズ入会勧奨ツール、ノウハウコンテスト
- ③ ワイズ市民権拡大のための会員意見発表コンテスト